

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第1区分
【発行日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【公表番号】特表2002-510792(P2002-510792A)

【公表日】平成14年4月9日(2002.4.9)

【出願番号】特願2000-542625(P2000-542625)

【国際特許分類】

G 01 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 01 B 21/00 P

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月27日(2005.12.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

平らな環状ゾーン20，即ち部分12の下面に設けられた環状形状が、ばね15によって、部材4の上部分の対応する平らな環状ゾーン21に押し付けられ、可動アームセット7をケーシング1に関して強制的に閉鎖する第1拘束システムを提供する。この拘束システムは、ばね15によって加えられる軸線方向予荷重によって閉鎖され、長さ方向軸線Zに沿った並進及びデカルト座標系の横方向軸線X及びYを中心とした回転に関する3度の自由度をなくす。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

図10は、本発明の別の実施の形態を部分的に示す。この実施の形態は、主に、実質的に環状形状の平らな環状表面を持つ第1拘束システムに代えて別の拘束システムを用いる点、及び回転対称の構造を持つが表面がZ軸に対して傾斜している点で、図1乃至図9に示す実施の形態と異なっている。詳細には、プローブのケーシング50の下部ベースは、可動アーム51を通すための開口部と対応して、截頭円錐形形状の表面52を画成し、この表面が、可動アーム51に固定された半球形又は球形のセクタの形状を持つ要素53と協働する。